

あっといいう間に12月、皆さまにと
って、今年はどうな一年でした
でしょうか？

私はコロナ禍の中で新しい趣味を始
めました。それは写真を撮ること。カ
メラ片手にあちこち歩いてみると、い
つもの街並みが少し変わって見えまし
た。よく見たらお洒落な街灯、夕方の
時間の美しさ、知っているようで知ら
なかった花の名前。見方を変えてみた
ら人生に彩りが増えた気がします。

「今夜はスーパームーン」とニュー
スで聞いたある夜のこと。寒空の下で
月を撮影する中、ふと「月っていつ

子どもが体調を崩した時、なんとかそ
の苦しみを抜いてあげたいと願うのが
親としての「慈」の心、子どもの好き
な食べ物を用意して楽しみを与えてあ
げたいと願うのが「悲」の心といえる
でしょう。

阿弥陀さまは、まさに子どもを思う
親のような、慈悲深い心で私たちのこ
とを照らしてくれ、そして南無阿弥陀
仏とそのお名前を呼ぶ全ての人が、
極楽浄土へと導いて下さる。そんな優
しい月の光のような仏さまです。目には
見えないけれど、私たちが思いを寄
せて南無阿弥陀仏となえると、この

久米慶勝

見上げる空に

仏のひかり



By keeping Amida Buddha in our
thoughts, Amida Buddha watches over
us.

揮毫 大本山金戒光明寺
第75世法主 久米慶勝台下

からあるんだろう？」と疑問に思い、
調べてみると、なんと約45億年前に誕
生したそうです。月が45億年も前から
ずっと私たちのことを照らしてくれて
いるのと同じように、実は遙か昔から
月の光のように、どこにいても慈悲の
心で照らして見守ってくれている仏さ
まがいます。それが阿弥陀さまです。

慈悲とは、「慈」には苦しみを抜い
てあげたいと願う「拔苦」という意味
が、「悲」には楽しみを与えてあげた
いと願う「与樂」という意味があり、
合わせて「慈悲」と言います。

これを例えれば、それは子育てです。

世と極楽浄土でいつも繋がることので
きる。それがお念仏の教えです。コロ
ナ禍で目には見えないものに恐怖を抱
くことも多い今ですが、目には見えな
い極楽浄土の世界に思いを寄せて、今
を生きるための安心感をいただきなが
らお念仏をおとなえたいしましょう。
「見上げる空に仏のひかり」このよ
うに思えると、今まで当たり前のよう
に見ていた月がほんの少し特別なもの
に見えてくることでしょう。見方を変
えてみると人生に彩りが増えるのでは
ないでしょうか。

(北海道函館市 湯川寺 筒井章順)